

立教大学広告研究会OB会報

発行所 立教大学広告研究会OB会
〒104-0061 東京都中央区銀座8-14-5 TEL (03) 3541-5405

14号

発行人 戸田 茂
編集人 黒岩俊隆

通巻14号 2001年6月発行(毎年2回発行)

OB総会を7月に開催

前号OB会報でお知らせの通りOB会の事業・会計年度の変更に伴い、今年からOB総会を恒例のサマーフェスティバルと同時に開催いたします。

旧交を温めながら冷たいビールをグイッ！ 普段はなかなか顔を合わせることのできないOB・OGの方々もお誘い合わせの上、休日のイブ(20日は“海の日”)は銀座へお集まり下さい！

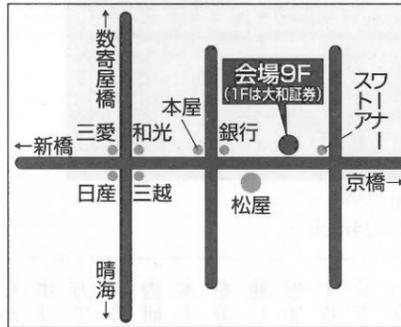
日時：7月19日(木)
場所：銀座3丁目 JYUJIYAホール TEL 03-3561-5260(当日限り)
(銀座中央通 松屋向い 十字屋ビル9階)

17:30 受付開始
18:00 OB総会(事業報告・会計報告・予算案審議・質疑応答ほか)
18:30~21:00 サマーフェスティバル

出演バンド：ハワイアンバンド
「ドリーム・アイランダーズ」
●食べ放題、ビール飲み放題
●賞品がもれなく当たる大抽選会開催

会費：男性/5000円
女性/3000円

●出欠のご返事は同封はがきで7月9日までにお送りください。



同時開催

OB総会

サマーフェスティバル

ご参加
お待ちしております！

OB紹介

●梶原綾子
研究副委員長・会計局長/社会学部社会学科/安田海上火災(株)「まだOBになる実感が湧きませんが、よろしくお願致します。」

●新井崇裕
店長/社会学部産業関係学科「来年も学生です。」

●工藤理恵
出版局長・合宿会計/文学部心理学科/仙台医療福祉専門学校「まだまだ学生ですが、よろしくお願致します。」

●木下大介
記録/理学部物理学科/住友海上火災保険(株)「社人会人頑張ります。」

●藤本英里
制作局長/経済学部経済学科「良い思い出ができました。みなさんありがとうございます。」

●小嶋邦史
営業副店長/理学部物理学科「来年も学生やらせていただきます。」

●宮路千尋
文学部英米文学科/運営副委員長/国際証券(株)「自分たちの代がもうOBなんて不思議な気分です。」

●五井健裕
合宿長/経済学部経済学科「何をやって二流者の五井です。皆様のお席に加えて頂けますか。」

●野久保宏紀
経済学部経済学科/委員長/日本ユニシス(株)「立派な大人になりますので、どうぞよろしくお願致します。」

●廣野良之
経済学部経済学科/企画局長・催物/デジタルテクノロジー(株)「OBの皆様、よろしくお願致します。」

●八木田 綾
営業会計/跡見学園女子大学 文学部国文学科(株)「あさひ銀行「今後ともぜひよろしくお願致します。」

●新OB八木田さんの入会については、現役よりOB会長へ入会推せん書の書面が届き、会長が受理しました。



●絶好のゴルフ日和。スタート前はみんな元気で。
●シニアトーナメント化防止のためにも若い方々の参加を!!

第6回「ザ・マスターズ」

■平成13年5月20日(日) ■源氏山ゴルフクラブ ■新バリア

順位	氏名(卒年)	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	柴田 健(48)	52	48	100	27.6	72.4
準優勝	山口 隆(44)	40	34	74	1.2	72.8
第3位	茂木康三郎(44)	44	44	88	14.4	73.6
4	玉井 康之(42)	50	49	99	25.2	73.8
5	箕輪 正則(47)	53	49	102	27.6	74.4
6	高岡 秀夫(50)	41	44	85	9.6	75.4
7	久高 健寿(49)	51	43	94	18.0	76.0
7	片柳 稔(42)	57	49	106	30.0	76.0
9	小俣 義雄(48)	54	51	105	28.8	76.2
10	平田 敬和(51)	49	49	98	21.6	76.4
11	渡辺 克巳(44)	52	51	103	26.4	76.6
11	藪谷 和代(45)	55	54	109	32.4	76.6
13	元田 進(44)	46	50	96	19.2	76.8
14	橋本 孝(40)	47	46	93	15.6	77.4
15	越川 茂(49)	56	55	111	32.4	78.6
16	桜井 和子(51)	50	53	103	24.0	79.0
17	松川 哲夫(51)	50	45	95	15.6	79.4
18	松田 光雄(48)	62	49	111	31.2	79.8
19	加藤 武男(42)	50	47	97	16.8	80.2
20	矢口 正幸(43)	57	54	111	28.8	82.2
21	峰岡 恒之(50)	60	54	114	30.0	84.0
22	田久保芳克(45)	56	56	112	27.6	84.4
23	組橋 厚人(42)	66	59	125	36.0	89.0
23	渡部 米夫(50)	65	60	125	36.0	89.0
25	平井喜美子(45)	68	74	142	40.0	102.0
26	塚瀬みちよ(44)	80	75	155	40.0	115.0

第6回ザ・マスターズ幹事反省記
(44年卒 山口 隆)
オーガスタ・ナショナルの興奮と爽やかなプレーを演出しようとして、我がホームコースの源氏山ゴルフクラブにて、5月20日(日)に開催しました。
当日の朝、みなさまにはコース攻略法を配り、マスターズらしいプレーの助けにと思いましたが、考えてみれば私の独りよがりで作ったもの。恐らく足を引っ張ったのではと、後になって気がつきました。反省しております。
この日は、クラチャンの1・2回戦とぶつかり、特にINコーススタートの方々は、予定よりも1時間半近くスタートをズラして戴き、ご迷惑をかけたました。ただ幸運にも天気はまさに五月晴れ、皆様には実力を充分発揮されたのではと、思いたいところですが、なにせ、クラチャン用のコースセッティングでしたので、グリーン

は早く、ピン位置は難しく、スコアを作るにはかなりの苦勞があったとは推察はしております。パーティーでは、女性が喜ぶマスターズをコンセプトに、片柳先輩の青山のお店DUE・DUEよりすてきな賞品をアレンジして戴きました。さぞや奥様、お嬢様、及びお知り合いの女性の方々はお喜びになられたと思います。片柳先輩の奥様はラッピングのプロで、NHKテレビに講師として出演されており、賞品には素敵なラッピングがされておりました。また、特別に賞品を寄付してください、有り難うございました。
今回も本会の幹事は矢口、久高両氏で、OB会皆様への連絡、組み合わせ、賞品の調達等コースとの交渉以外の全てを取り行って戴きました。幹事の山口、高岡両名は、久高氏経営の渋谷「申ん坊」

でおいしい焼き鳥とビールをいただきながら、4回の打合せもゴルフの楽しい話をしただけ、というような気もした事、高岡氏もかなりの責任を感じて事に当たってくれ、二人の感想は、まあまあ成功ではなかったかと自己満足しています。どうも有り難うございました。最後に、今回キャンポーストア基金としてドネイションホールを設け、寄附金として2万3000円が集まったことをご報告いたします。



左から BB賞平井さん、準優勝山口氏、優勝柴田氏、第3位茂木氏の各氏

初の女性店長誕生

第48回立教大学

キャンプストア開催

OBの皆様の
ご来店を
お待ちしております！

期間 7月20日~8月22日
営業時間 AM 10:00 ~ PM 10:00

21世紀初めてのキャンプストアの店長になり、戸惑いと共にすぐ緊張しています。諸先輩が繋げてきた伝統あるキャンストを今年も大成させようと、一・二年生と共に力を合わせて今準備にとりかかっています。今年のお店は、48年の伝統を守りつつ、女性店長らしく来られた方々にくつろぎながら楽しめる店作りを目指しています。今年、OBの方々にも思い出に残るよう、ご来店して頂いた方でEMAILアドレスをお持ちの方はデジカメで撮った写真を後日送らせていただきます。また、土・日中心に子供から大人まで楽しめるイベントもご用意しておりますので、ぜひご家族で遊びにおいで下さい。

徳山 裕美

杉本博司氏(四五年卒)

「写真界のノーベル賞」

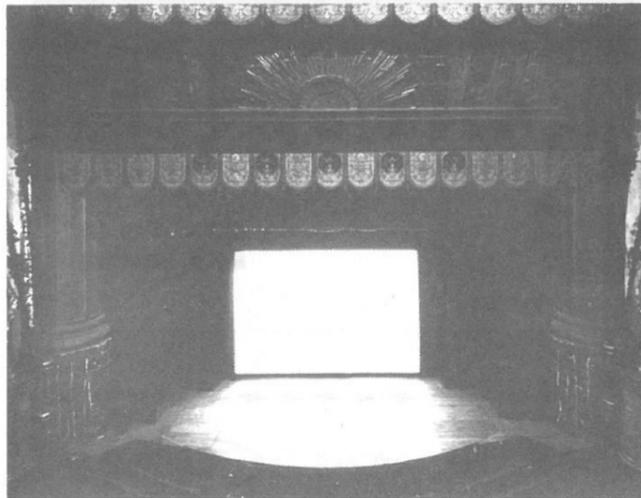
二〇〇一年度ハッセルブラッド財団 国際写真賞受賞



日本人二人目の快挙

写真分野のノーベル賞と言われるハッセルブラッド国際

写真賞にモノクロームで光の絵画をイメージさせる写真家の杉本博司氏が決定した。同賞はスウェーデンのハッセルブラッド財団が1980年からパイオニア的業績をおさめた人物に贈っている。(中略)贈呈式は十月二十日、イ



269 Beacon Theatre, New York 1979 Gelatin silver print 20×24inch



331 Tasman Sea, Nagarupupu 1990 Gelatin silver print 20×24inch

学卒業後、米国の大学で写真を学んだ。生きた人物ではなく、映画、建物、海などを対象に、概念的な深みを持った主題の作品を撮っている。ニューヨークのメトロポリタン美術館で個展を開くなど、海外での知名度は高い。同財団は「時間というパノラマ」に魅了された杉本氏は、作品の中に幅広い色調を生み出すことに成功した」ことを受賞理由に挙げています。(日本経済新聞三月二十六日記事より転載)

おめでとうございました。OB会にとっても大きな慶事です。

広告研究会の思い出

杉本博司

私は昭和45年に経済学部を卒業しました。卒業とはいつても極めて異例の年で、卒業式は行われず、卒業証書は郵送で送られてきました。当時は学園闘争の真っただ中、大学は封鎖されていました。学生による大学封鎖という非常事態のなかで、広研の活動は大きくふたつに分かれていました。未来のデザイナーやコピーライターを目指して技術を磨く、どちらかというところの学生の学生達。一方では広告批評という立場から、広告研究を通じて資本主義社会の現状を分析し、それを通じて学生運動に参加していかうとする社会科学派。朝日ジャーナルが革命前夜という雰囲気を感じていました。私が新入生として入学し、迷わず広研に入ったのは、写真やデザインをやりたいのが動機でした。しかし初めて総会に出席して、鈴木正委員長の演説を聞いて度肝を抜かれる思いがしました。広告を通じて現状認識、弁証法の問題、エンゲルス論、産学協同批判、学問の自立性、そして恋愛論までも。ここは大学で、大人でインテリなのだ、と強く印象に残ったものでした。もうひとり印象に残った人がいます。仏文科教授の村松剛氏です。当時、連日のように団体交渉という、教授会への学生による吊るし上げが行われていました。左翼でないといんてりではない、という時代的な風潮の中にあつて、学生の執拗な批判に答えて一歩も引けをとらずに堂々と持論を展開する姿は、私に右翼的発想と思考の面白さにも目を向けさせてくれたのです。私の今日があるのも、この若い広研の時代に知的な刺激を存分に受けたという、豊かな経験があるからだと思えます。

禧久 均氏(四十八年卒 博報堂第一制作局長) 第四回「赤レンガ講座」に講師として登場

五月十一日、立教大学・立教大学校友会共催の校友による学生のための特別講座、第四回赤レンガ講座に八名の講師陣のトップバッターとして登場した禧久氏は、現役学生より大好評を得ました。

広告クリエイティブの仕事は苦しいけど楽しい仕事だ

小沢香保里/51年卒・記 まず感銘したのは、200名にも及ぶ学生の前での大変素晴らしい講義ぶり。縁あって私の娘が立教大学広告研究会に在籍していることもあり、彼女と一緒に聴講する機会を得た私は、久方ぶりのキャンパスに学生に戻ったような気分です。「心を掴む良い広告を作るための要素」「これからの広告業界の必要とすべき視点」など、日常では触れることのできない、多岐にわたる講義内容を堪能することができた。

話に引き込まれたのは、学生たちも同様だったらしい。2時間にと及ぶこの講義の最中、誰ひとりとしてお喋りもせず、黙々とノートを取り、話に聴き入っていた。最後の15分の質疑応答に至っては、

次々に質問の手が挙がり、とうとう時間切れで、教室を出ても禧久氏の周りを20人ほどの学生が取り囲み、あらかも新たなゼミが始まったかのよう。最近の



学生に大好評だった 禧久均氏の講演

学生の授業態度のひどさを聞いていただけに、これには驚いた。実は、もうひとつ驚いたことがある。この講義の際、テンポ・長さ・描き方などの相違をハッキリするため、禧久氏が手掛けた1980年代のCM(サントリー・大原麗子シリーズ/KDD)と昨年のCMを数本ずつ流したのだが、これを見て我が娘のもらした感想が面白い。なんと、80年代のCMで描かれている女性像には腹が立つと言うのだ。私など、ウーン懐かしい、としか思わなかっただけに、CMの持つ時代性を改めて痛感。ホント、勉強になった一夜だった。なお、付け加えるに次の週末も聴講した娘が言うには、「禧久さんの話のほうがかつと面白かった、とみんな言ってる」とのこと。さすがは広研OBなり。

第11回広告講座

5月17日(木) 立教大学5124教室にて

柏木 新氏(コピーライター/38年卒)

現役生に「ビールにおけるマーケティングの世界」を講義

5月17日(木)午後5時30分から、立教大学5124教室において第11回広告講座が開催されました。講師には柏木新氏をお招きし、広告とマーケティングのお話をさせていただきました。現役の参加者は20名。氏は参加者に一年生が多かったこともあり、広告に関する概念やマーケティングの基本的な流れを分かりやすく丁寧に教えていただきました。

日頃、テレビコマーシャル

や広告から何気なく接している様々な商品に、企業のしたたかなマーケティング戦略が秘められていることを認識し、参加した一同、改めてマーケティングの重要さを認識した模様でした。 今回の講座で私たちが学び得たことを、現在研究中であるサッポロビールのマーケティングリサーチに活用し、完成度の高い研究にしていきたいと考えています。

(現役2年/馬橋康介・記)



講師を務めていただいた柏木新氏を中心に

「夏の浜の文化を育てたユニークな企画」 森永が同社百年誌で学生キャンパスストアの歴史をひもとく

立教大学は商工研究会が千葉県大原の小浜海岸で昭和4年にスタート、広告研究会により昭和29年に再開

立教大学キャンパスストアも今年で48回を迎えました。その歴史は森永が戦前(昭和6-14年)に実施した好評だった「キャンパスストア」にルーツを見ることが出来ます。森永百年誌では、

戦前からの同社とキャンパスストアとの関わり、戦後昭和29年に復活した立教大学キャンパスストアの変遷などについて触れられており、昭和41年、森永が「学生キャン

この記事は、宮下 洋氏(34年卒/森永乳業勤務)より情報のご提供をいただきました。

広研OBの活躍のニュースは立教大学広告研究会OB会オフィシャルホームページも掲載される予定です。最新のニュースを見たい方は、どしどしアクセスしてみてください。 http://www.hosobunka.co.jp/rikkyoad/ 携帯電話iモードからの情報提供ページもあります。 http://www.hosobunka.co.jp/irikkyoad/